



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5680 FAX.025-520-5853

ホームページ⇒

ふるさと上越 🔍



2022.9.11(日) 直江津駅前銅像「潮騒」作者/上越市出身・彫刻家 岡本鏡二氏 撮影:松本栄規さん

「たより」No.282 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越	3
・上越の行事・展示会	
・上越の話題 謙信公祭、3年ぶりに開催	
上越の名家とカフェ	5
林富永邸	林富永邸八代目当主 富永正浩
上越産品販売のお知らせ	6
鯉橋師匠高座予定	6
会員ひろば	7
コシヒカリの誕生秘話	妙高西条農園 池田勝重(肝太)
上越市からのお知らせ	7
ふるさと納税の取組を拡充しました	
俳句ひろば	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」では、「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は600名(9月30日現在)です。(令和4年度目標610名)

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和4年8&9月) 156点 235,159円 (前年同月 190点 355,703円)

Jネットの活動とお知らせ

1. サロンは、9月15日（木）にオンラインで開催

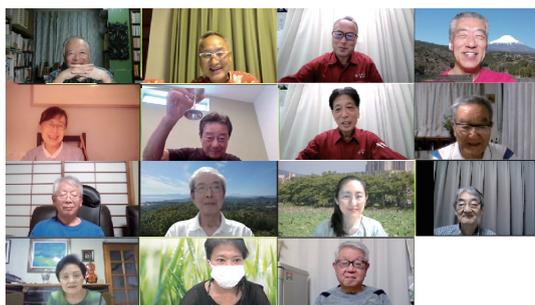
今回は、令和4年10月13日（木）次々回は11月10日（木）。ぜひご参加下さい。

9月サロンもコロナ禍のため、引き続きオンラインで開催。おまけに、サインインに不備があり、当初予定の8日から15日に変更となりました。

句会への出席に始まり、旅行や最近の巷での飲み会、コロナ禍でも工夫してお茶会開催、愛猫やペット、それに評判の魚かまチップスなど話は多彩。

さらには、米国アルテミス計画（打ち上げロケット全長100mのうち80%は燃料用とは驚き）、加えて、オリンピックでの日本体操復活秘話、それに、平和のために巨額な費用をかけても開催するオリンピックにあって、昨今の世情を騒がず汚い話はもつての外と断罪するなどサロンならではの話題やご意見で大いに盛り上がりました。

最後にK会員から、上越への墓参りで見事な蓮を愛で、歴史博物館に森成麟造（漱石の漱石の主治医・上越考古学の草分け）展を見学、森成先生という郷土の偉人の新たな発見などの披露もあり、9月のサロンは、少人数ながらも、実りの多い集まりとなりました。



9月15日 サロン参加のみなさん

【次回以降のサロン】

サロンは、毎月第2木曜日に開催します。11月は10日（木）17:15 - 19:00を予定していますが、現在、リアルかオンラインかを検討中です。10月13日の当会運営委員会にて、決めますので、当会HPをご覧ください。事務局までご照会ください。

なお、オンラインの場合は、全国どこからでも参加でき、アルコール片手に中座も自由、勝手なことを勝手に言える集まりです。初参加大歓迎。

ご参加は超簡単、届いたURLをクリック2回で参加できます。未体験者には、事前に操作方法もお手伝いしますのでお気軽にご参加ください。

ご照会やご参加は、事務局宮里 k.miyazato@araip.co.jp まで。

2. 当会の2023年ふるさとカレンダーの発行。

応募写真は、10月20日までに、データにて、事務局宮里 k.miyazato@araip.co.jp まで送信下さい。当会の2023年ふるさとカレンダーは、次号「たより」11月25日号にて同封にてお届けします。



2022 カレンダー作品

3. 当会創立25周年「たより」特別号へのご寄稿、ありがとうございました。

本年の創立25周年記念事業として、「たより」特別号の発行を予定しておりますが、皆様からはご寄稿を多数頂戴しました。まことにありがとうございました。特別号は、年内の発行を目指して準備中です。

4. いま旬のホームページ（HP）をご覧ください。https://joetsu.gr.jp/

おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせて大きく増えております。内容も、上越市の四季の写真他、次のように掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

- ・お知らせ：上越関連 TV 放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店などの話題。
- ・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
- ・「たより」：全頁カラーで過去2年分を掲載。・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
- ・他HPへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員7社のHP。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン(JCV)の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・PSWにてログインしてください。



とれたて上越

1. 上越の行事・展示会

(1) 越後・謙信 SAKE まつり 2022

10月22日（土）・23日（日）高田本町商店街



越後・謙信 SAKE まつりは、上越、妙高、佐渡の蔵元が出店しこの3地域の銘酒の試飲が楽しめる、10月恒例の人気の高い行事です。今年はコロナ禍前のスタイルで、3年ぶりに開催、来場者は以前のように10万人超えを期待したいところです。

試飲料は2千円/日。会場1.5往復もすればすっかり酔いが回ります。

主な連携企画（詳細は「越後・謙信 SAKE まつり 2022」を検索）は下記の通り。

- ①上越市内で、まつり限定酒「車懸」（吟田川の代々菊酒造製）の提供と限定ブレンド酒「総がかり」の販売。



「車懸 2022」 1500本限定

②公式オンラインショップの開設

←全会員にお知らせ

上越地域の日本酒や限定酒を販売します。(上記「越後…まつり」を検索)

○開設期間 10月1日(土)～11月21日(月)

③期間限定ストア東京会場オープン!

←関東圏在住会員にお知らせ

渋谷ストリーム1階に「SAKEまつり期間限定ストア」を開設。

上越地域の日本酒の試飲と販売などを行います。

○期間 10月17日(月)～10月23日(日)

○場所 カクウチベース POP UP SHIBUYA (渋谷ストリーム1階)

○その他 10月22日(土)には、渋谷ストリーム前「金王橋広場」にて、マルシェを開催!
渋谷ストリーム

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目21番3号

東急東横線・田園都市線・東京メトロ半蔵門線・副都心線「渋谷駅」C2出口直結

(2) 上越市文化財指定記念 企画展「日本スキーの黎明」

上越市立歴史博物館

開催期間：12月4日(日)まで。

明治44年(1911年)1月12日、オーストリアのレルヒ少佐によって金谷山で初めて本格的なスキー指導が行われたが、その110年の節目を迎えた令和3年、上越市が所蔵する「日本スキー関係資料」(有形文化財[歴史資料]、297点)と「一本杖スキー術」(民俗文化財[無形])が上越市文化財に指定されました。

本展では、上越市文化財「日本スキー関係資料」を中心に、日本スキーのはじまりからスキーの産業化・スキーの全国的な普及という、黎明期の日本スキー界をけん引した上越の役割を紹介します。(上越市歴史博物館HPより)

(3) 小川未明市民音楽劇「月の明るい夜に」

出演者は市民、脚本は劇団四季やディズニー映画の和訳などで活躍する著名な作家が担当、作曲、舞台監督、照明、音響など一流のスタッフが市民をカバーする市民音楽劇。

・日時：11月27日(日)・会場：上越文化会館大ホール・チケット制・有料

2. 上越の話題

謙信公祭、3年ぶりに開催

8月21日(土)22日(日)の両日、第97回謙信公祭が開催。20日は春日山城をはじめ10城址からのろしが上がり、21日には、恒例の上杉・武田両軍の出陣行列と川中島合戦の再現が行われた。中川市長の謙信公が馬上より口上を述べ、「義の心」のまちづくりは、わかりやすかったと好評。



中川幹太市長謙信公



撮影：松本栄規さん

上越ケーブルビジョンによるライブ放映で迫力を楽しんだとの声も寄せられ、コロナ禍で規模は縮小されたが、見物者数も3万人ほどにのぼり、3年ぶりの謙信公祭は充実したものとなった。

豊かな歴史と文化に育まれた上越。その象徴の一つが今も続く名家の存在です。

今回は、先般、NHKでも放映された林富永邸（三和区）ならびに同邸でのカフェをご当主に紹介していただきました。

林富永邸

林富永邸八代目当主 富永正浩

林富永邸は今から139年前、明治16年に、当時外科医だった四代目の富永護右衛門によって建てられました。地名が立林であったことから屋号を林と名付け、今でもご近所さん同士では屋号で呼び合っています。以前は七代目の父と母が暮らしておりましたが、2年前のカフェ開業に伴い、今は私の妹夫婦が生活しております。

林富永邸の特徴は大きく分けて2つあります。茅葺き屋根と枯山水の苔庭、借景の庭園です。

茅は7～8年に一度、全ての茅を葺き替えます。長岡より職人さんと呼ばれ寄せ、茅は富士山麓より取り寄せます。

苔庭には樹齢500年の杉の大木、樹齢200年の枝垂れ桜、紅葉の老木が立っています。借景庭園では遠くに見える田を海に、張り出した丘を岬に見立てています。

邸内は梁が剥き出しで天井のない農民仕様の部屋と、書院造りの座敷がある洗練された武家仕様の部屋に分かれています。また当時の生活が偲ばれる石の流し台、釜戸、囲炉裏、ガラス、時計などが残されており、そのほとんどは未だに現役で使用されています。

春夏秋冬と季節ごとの風景を楽しませてくれる富永邸ですが、12月も末になると積雪のため3月までは雪に閉ざされます。雪かき、屋根からの雪おろしなど大変な生活ですが、キツネ、テンなどの珍客が訪れることもあります。

縁側にある水琴窟の脇に生えるハランの葉には、父が幼少の頃来客の前に一枚、一枚手で磨かされた思い出があるそうです。住み込みの女中さんや男衆は5～6人おり、長いひとは四十年間ほど働いていたそうです。

時折、父のそんな思い出話を聞いて当時の生活に思いを馳せます。

杉並木を吹き抜ける涼風は肌に心地良く、自分を囲むようにして周囲から聞こえてくるひぐらしの合唱は、そこはかとなく哀感を漂わせ幻想的ですからあります。

人工物の見えない景観の例をとっても、地域や行政、親戚縁者の数多くのかたがたのご尽力、ご厚意によって林富永邸は、今日まで維持できているのだと思います。

この美しい自然と歴史ある建物を少しでも後世に残せるよう、皆様の力をお借りしながらこれからもやっていきたいと思っています。

カフェ ハヤシ

林富永邸の苔庭や借景庭園を見ながら、ゆったりとスイーツやドリンクを楽しんでいただこうと、一昨年の6月に私の妹夫婦がカフェをオープンさせました。

発酵がテーマとなっており、地元の丸山酒造場さんの酒粕や麴などを使った白玉あんみつ、チーズとあんずのケーキ、ほうじ茶ゼリー、味噌と大豆のロールケーキなど季節の移ろいに合わせて様々な種類の発酵スイーツを楽しんでいただけます。

長野県の塩尻から移住した、工業デザインを専門とする弟と、料理研究家の妹ですが、駐車場の整備、内部改装、近隣とのお付き合いなど苦労もあったかと思っています。今では私も加わり、3人でカフェを運営しております。

オープンからはや2年、Eテレ「ふるカフェ系 ハルさんの休日」で放映され、お陰様で全国にその名を知られるようになりました。以来、遠くより足を運んで下さるお客様も増え、満席になることも多く、予約してからのご来店をお願いしております。

多くのお客様から感謝や励ましのお言葉をいただき、それらを励みとして、これからも皆様に愛されるカフェを目指していきたいと思います。

林富永邸 〒 942-0265 新潟県上越市三和区神田 2245 TEL 025 - 532 - 2602

カフェは事前予約をお願いします。

併せて、林富永邸 HP もご覧ください。 <https://cafe-hayashi.com/>



上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。
現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A 4判1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。
- 上越特産市場 上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。
「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。
- 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」 商品内容は決まり次第、Jネット HP に掲載します。
恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は下記にて予定しています。
日時 10月29日（土）、同30日（日）・11月26日（土）、同27日（日）
会場 有楽町交通会館1F。開業時間 11:30-17:30
- 常設店舗 「雪国商店」 場所 有楽町交通会館1F 営業時間 11:00 - 19:00 年中無休（年末年始は休業）

♪お問合せ：JCV 東京情報センター 03 (5218) 7730

瀧川鯉橋師匠 出演予定

鯉橋：090-4730-9032 rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp(鯉橋メール)

◇10/11(火)～20(木)新宿末広亭・昼の部

時 間：正午～4時半

※鯉橋は1時ごろ出演

木戸銭：3000円

主 任：桂 歌春。ほかに遊吉、ねづち、陽・昇など出演。

お問合せ：03-3351-2974(末広亭)



ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～



◇10/17(月)八起寄席

時 間：午後7時～8時45分 木戸銭：1000円

出 演：鯉橋、さん光

会 場：焼肉「八起」(相模原市南区相模大野 6-19-25)

お問合せ：042-748-2611(八起)

◇10/24(月)

七人の侍～流浪の落語勉強会～(第100回記念興行)

時 間：午後1時～3時半ごろ

出 演：枝太郎、楽生、鯉橋、鳳志、円福、小助六、貞寿。

会 場：お江戸日本橋亭(三越前)

お問合せ：090-6520-9252(鳳志)

<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

コシヒカリの誕生秘話

妙高西条農園 池田勝重（肝太） 妙高市在住

新潟の誇り、コシヒカリ。その誕生は私と同じ昭和19年で、今年78歳になります。長岡の新潟県農事試験場で高橋浩之氏らの手により、「農林1号」の父と「農林22号」の母の間で生まれました。農林1号は味がよく、冷害に強い品種といわれていました。

誕生間もなく、長岡空襲により試験栽培もままならないことから、昭和23年、福井県農事試験場に里子に出されます。福井では石黒慶一郎氏らによって試験栽培が継続されましたが、その間、福井大地震があり、試験栽培も困難の連続でした。

このような厳しい境遇に育ち、幸運にも生き残った子に目をつけて、「コシヒカリ」と命名し世に普及させたのは、当時の新潟農事試験場長の杉谷文之氏です。「越の国に光輝く」ことを願ったことです。

昭和44年に自主流通米制度が発足すると、「良質米・良食味」を求める消費者の皆さんがその普及を後押ししてくれました。現在、各県で新品種が登録されていますが、その大半がコシヒカリを元に交配されたものです。



コンバインによる刈取り作業

しかし、食味については、原種にかなわないと思っています。当農園では、その原種にこだわりながら、食味向上のため、有機肥料とミネラル土壌改良肥料を圃場にすき込むなど工夫を重ねています。越の国が一層、光輝くようにお願い込めて、さらに美味しいお米作りに努めてまいります。

上越市からのお知らせ

ふるさと納税の取り組みを拡充しました

上越市では、ふるさと納税を受け付けています。8月より、ふるさと納税ポータルサイトの活用を開始するとともに、上越産品の魅力発信と需要を高めるため、様々な産品を寄附に対するお礼の品に追加しました。『ふるさと上越』への温かい応援をお願いいたします。

【参加しているポータルサイト（6サイト）】

- ・ANAのふるさと納税 ・さとふる ・ふるさとチョイス
- ・JRE MALLふるさと納税 ・ふるぽ ・楽天ふるさと納税

【主なお礼の品】

- ① 上越市への来訪機会を創出するもの
 - ・市内飲食店食事券（料亭、ワイナリー、寿司店など）
 - ・市内宿泊施設利用券（温泉宿、ゲストハウスなど）
 - ・体験サービス
（施設貸し切り、市内観光プラン、観光列車乗車券、墓参り、掃除、草刈り、新聞定期購読など）
- ② 食料品米、餅、味噌、菓子、野菜、果物、肉、その他食品、酒類（日本酒、ワインなど）、お茶、その他飲料品など
- ③ その他 工業製品、雑貨など



「えちごトキめきリゾート雪月花（せつげっか）」お食事付プラン乗車券もご用意しています。一度の乗車で、海と山の景色とお料理をご堪能いただけるプランです。（さとふる）



上越産の美味しいお米もたくさんご用意しています。

照会先：用地管財課 財産運用室（電話：025-520-5642）



「上越市を語ろう」一皆様の手で上越市の魅力を発信

当会HPでも会員以外の閲覧も多く、上越に関心や興味をお持ちの方は大勢おられます。ところが、上越は意外と知られていないのが現実です。上越応援団たる会員の皆様をお願いします。広報の最も強力な手段「口コミ」を活用し、リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越についてふれていただき、上越の宣伝をしていただきたいと思います。

先般の上越タイムスにて、「7月開催のウクライナ関連の会合につき、社会的問題のある団体と関係があった」との記載がありました。

当会は「たより」7月25日号にて、「ウクライナ難民を支援する市民の会」を紹介しておりますが、同会は、上越タイムス報道の会合とは、全く別のものと確認いたしました。「ウクライナ難民を支援する市民の会」には、2名の市長経験者や上越商工会議所会頭はじめ市民が幅広く参加、文字通り市民の会です。念のため、申し添えます。

●●●●●●●●●● ネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験や思い出、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1,200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。送信先：k.miyazato@araipt.co.jp

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和4年11月25日の発行です。